



# おんしゃく

平成 26 年 6 月

No. 172

# 議会だより

●発行 / 千葉県御宿町議会 ●編集 / 議会だより編集委員会 ●発行責任者 / 中村俊六郎



## 3月議会

### ～水遊びって楽しいね！～

布施小学校 5 年生

平成 26 年  
3月 10日・11日・13日

24日・26日

### 第 1 回定例会

一般質問 町長の政治姿勢についてなど 5 議員が登壇…… 2P

専決処分・条例制定・改正・補正予算について …… 13P

新年度予算について …… 18P

意見書、請願、トピックス、議員活動について …… 20P

# 第1回定例会 一般質問

定例会では、5名の議員が一般質問を行いました。  
※ 一般質問の内容は要約して掲載しています。

## 3月10日 日程第1号

質問 順番	質問事項	質問議員
1	1) 町長の政治姿勢について	貝塚 嘉軌
	平成26年度予算の重点施策について	
	1. 観光活性化対策としての温泉まちづくり事業の進捗と温泉まちづくり事業以外の活性化対策	
	2. 少子高齢化対策について	
	3. 行政改革大綱について	
2	1) 自治体経営のありかたについて	滝口 一浩
	1. 環境美化について	
	2. 町長の政治姿勢(公約)について	
	3. 各検討委員会について	
3	1) 行政事務手続き及び検証	瀧口 義雄
	2) 急がれる3つの安全施策	
	1. 御宿台交差点に信号機設置を	
	2. 民宿日の丸さん脇の変則交差点について	
	3. 防犯カメラの設置、防犯抑止の看板設置	

## 3月11日 日程第2号

質問 順番	質問事項	質問議員
4	1) 災害に強いまちづくりについて	土井 茂夫
	1. 台風26号及び大雪対策について	
	2. 普通河川清水川の洪水対策について	
	3. 避難路等の整備について	
	4. 水たまりゼロプロジェクトについて	
5	1) 町長の政治姿勢について	石井 芳清
	1. 大震災から3年、防災のまちづくりの到達と課題について	
	2. 協働のまちづくりについて	
	3. 交流事業について	
	4. 温泉まちづくりについて	

### 表紙の写真について

5月1日実施の「布施っ子田んぼ」のあとのひとコマです。  
足についた泥の感触に歓声をあげながら田植えをしました。田植えが終わった後、NPO元気ファームが管理する手押しポンプの井戸で手足の泥を落としていました。



## 貝塚嘉軒議員

### 町長の政治姿勢について

観光活性化対策としての温泉まちづくり事業の進捗と温泉まちづくり事業以外の活性化対策

**Q** 平成26年度の予算の重点政策についてお尋ねします。

毎年、新年度予算での前向きな、躍動的な投資的経費、これに注目しているわけですが、31億3600万円の予算の中で、特にこれだけは進めたいという新しい事業がありましたら、説明をお願いします。

**A** 平成26年度当初予算の編成にあたりましては、第4次総合計画のアクションプランに掲載した事業を中心に編成、協議を進めました。

また、保育所の建設に向けた取り組み、お出かけ支援、地域公共交通と

してのデマンド型交通の運行の経費などを新たに予算化して盛り込んで計上しました。

投資的経費は、地域の元気臨時交付金基金を活用した野球場トイレや小学校の擁壁など、学校施設の改修、御宿漁港の堤防の改修などにより1億7938万1000円となり、前年度と比べ

約7600万円の増、構成比でも2・2ポイントの増となりました。  
(答弁者：企画財政課長)

**Q** 観光活性化対策についてお尋ねします。温泉まちづくり事業の進捗状況について。

**A** 当初計画していた町内の温泉供給先

と価格面で調整がつかないことと、事業への参加者が少ないため、収支計画の見込みが立たないことから、町で安価で調達できる別の温泉源を探すとともに、それに伴う実施手段の変更について、現在、観光協会理事会に実施の可否について協議をお願いしております。  
(答弁者：産業観光課長)

**Q** 町長に対して、平成25年4月18日、観光協会長が、温泉まちづくり支援制度設置に関する要望書を提出されております。

今になって、補助金を出しますから貯水タンクをつけて、それでやってくださいと。最初から10万円つけるのなら、何で早くからやらなかったのですか。

**A** 要望書の内容につきましまして内部で精査した上で、町長は何らかの支援をしたいという意思を示しました。

ただし、漠然とした要望書ですので、今度、町が対案を示したときに、この対案であれば、こういうものが必要であろうと想定するもので、補助金の計画をさせていたものであります。  
(答弁者：産業観光課長)

**Q** 町長の対案で協会長は、やるという決心を町長に伝えたんですか。

**A** 協会長は、地元温泉を活用してやりたい、ほかから持ってくることに反対ですと言われました。

しかし、宿泊委員長をはじめ、多くの宿泊業の方が観光振興のために是非という声がだんだん広がっています。そういう意味で、観光協会長は公平で平等に皆さんの意見を聞かなければなりませんので、理事会は開かれると思っております。  
(答弁者：町長)

**Q** 御宿町は高齢化率が42%を越えて、医療費の増加、あるいは保険制度を圧迫している状況にあります。このようなかで、特定健康診査の受診状況について、伺います。

**A** 特定健康診査は、5月7日から6日間、さらに予備日を2日間設けて実施しました。今年度の対象者数は、2577人、うち受診者が841人、受診率は32・6%です。平成23年度と比較しますと、2・3%受診率が伸びておりますが、昨年と比較しますと、ほぼ横ばいです。昨年度から健診項目に心電図、眼底検査、貧血検査、腎機能検査などの検査項目を追加いたしまして、住民の利便性を図っております。  
(答弁者：保健福祉課長)

**Q** 新年度の高齢者や保健事業で、新規に取り組む事業がありましたら、伺います。

**A** 要望書の内容につきましまして内部で精査した上で、町長は何らかの支援をしたいという意思を示しました。

今年度の夏までに改修予定のB & G野球場トイレ



▲今年度の夏までに改修予定のB & G野球場トイレ

**A** 町では介護予防の事業として、鶴亀教室、あるいはクラブを開催しています。また本年度は、認知症対策として、脳トレ教室や元気いきいき教室を開催しました。元気いきいき教室では、地区の老人クラブの会員と連携して、各区の公民館や集会場に出向き、認知症予防や保健予防に取り組みました。

この事業が大変好評でしたので、来年度はさらに充実して、さらなる介護予防、健康づくりに取り組みたいと考えています。

(答弁者：保健福祉課長)

**Q** 昨年9月に子ども子育て会議条例が議会で承認され、次世代育成のあり方や子育てについて、今後協議や計画の策定が予定されていると思われま

す。



▲御宿保育所の運動会

そこで、少子化に対する新年度の取り組みについて、伺います。

**A** 本年2月に子ども子育て会議条例に基づきます計画検討の委員会を立ち上げ、現在、国の助成を受けまして、子ども・子育て世代のニーズ調査を実施しており、新年度からは計画の策定に実際に入りたいと考えています。

また、各種の健康調査や出産育児一時金の支給、子育て相談などの相談窓口の開設、3人目以降の出産にお祝い金30万円の支給、中学生までの医療費助成と、さまざまな支援を実施しています。

新年度は、これらの事業を継続的に実施するとともに、国の支援給付事業による子育て世代臨時特例給付金の支給や、町単独事業として幼児の虫歯予防を目的に2歳児を対象としたフツ素塗布事

### 行政改革大綱について

**Q** 第6次行政改革大綱において、3つの基本施策ごとの検証結果はどうであったか。成果、課題等を含めてお願いします。

**A** 第6次行政改革大綱では、取り組む目標の柱が3つあります。1つ目の「住民と協働のまちづくりの推進」については、ボランティア団体等への助成制度を創設しました。また、パブリックコメント制度の活用により、各種政策策定において住民の皆さんの意見の反映に努めました。

今後、地域住民間のつながりを深くし、地域の自立性を高めて、災害の発生時などの協力体制の強化、犯罪等の未然防止に努めます。また、地域住民の皆さんの知識経

験を持った人材の積極的活用を推進し、行政と地域住民の役割を明確にした中で、協働をより進めることが課題と認識しています。

2つ目の「簡素で効率的な行政運営」ですが、住民サービスの向上を第一に考え、介護予防保険事業の一部民間委託、計画的な職員の研修派遣や勤務評定の適正運営により、職員の意識改革・資質向上に努めました。今後、組織の改革、役場窓口の利便性向上、また実情に応じた定員適正化計画の策定による職員の管理が課題となっています。

3つ目の「健全財政運営の推進」ですが、各種未収金等の徴収強化や発行者への広告掲載事業、普通財産の売却など自主財源の確保に努めるとともに、予算の重点配分、事業選定、執行方法の改善について見直しを行ない、経費の節減を図りました。

今後、公共施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が見込まれ、よりバランスのとれた財政運営に努めなければならず、さらに各種未収金対策や使用料、手数料の見直しなど、これまで以上に自主財源の確保が課題であると認識しております。

(答弁者：総務課長)

# 滝口一浩 議員

## 自治体経営のあり方について

**Q** わが町の財政状況は、A、B、C、D、E、5段階評価で、どのランクか伺います。

**A** 財政状況に関する指標につきましては、平成24年度決算における県内自治体54市町村との比較では、財政の弾力性を示すとされる経常収支比率は88・6で県下18位。交付税算定で算出される数値を用い財政力を示す指数とされている財政力指数は0・47で県下46位。

当該年度の公債費負担を示す実質公債費比率は8・7で県下26位。

将来の公債費負担を示す指標とされる地方債現在高比率は159・4で県下34位。

積立金額の財政規模に対する割合である積立金比率は36・5で県下27位です。

こうした指標から見た現在の状況、また現在の状況から見込む将来の状況から、難しい判断になりますが、CからDと考えています。

しかし、財政規模の小さな当町におきましては、1つの要因によりまして状況が大きく変わることが想定されるため、今後も引き続き計画的な財政運営が重要と考えています。  
(答弁者：企画財政課長)

**Q** 温泉まちづくり事業ですが、昨年の6月議会の一般会計補正予算承認時とは、事業内容に大幅な変更が最近生じました。この事業、そもそも町長の1期目からの公約であります。

既に5年、経過しています。6年目です。いまだに進みません。迷走もしています。日本津々浦々の町で温泉があり、

果たしてこの程度の温泉施設で観光客の集客と町の活性化ができるのか、温泉まちづくりのビジョンって何なのかを伺います。

**A** 温泉まちづくり事業は、宿泊施設に温泉水を配給し、宿泊客などに温泉を提供すること

などで、観光地としての魅力を増進させることを目的としています。夏期依存度の高い本町の観光事業を通年型に発展させることにより、交流人口の増加を図り、経済効果の裾野の広い観光事業を中

心に、町全体の活性化を図るものです。

また、圏央道延伸による利便性向上により、宿泊せずに日帰り客に転ずる傾向が目立ち始め、御宿の宿の一つの強みとして温泉の導入が計画されたところでは。

(答弁者：産業観光課長)

**A** 温泉のまちづくりは第1回目の立候補のときから公約として上げさせていただいております。

この温泉事業を行うことによつて、必ずや観光振興に、あるいは活性化

にプラスになると。御宿町は、食の関係と自然景観、景色もいい、そういう中でプラス温泉ということであれば、必ずプラスになると私は考えております。

(答弁者：町長)

**Q** 問題なのは、この事業計画の進め方が全く、でたらめだと思

うんです。土壇場の3月に来て、大喜の源泉から温泉水をタンクローリーで運んで、まして今度、駅前1000万円かけて沈殿槽をつくるなんて、こんなの絶対に許されません。そんなこと、勝手に決められてまして一軒10万円町の血税で補助するなんて、我々は何も知らなくて、誰がどのような形で計画を練り直したのか伺います。

当初の計画は、観光協会が作成したものです。ご承知のとおり事業が計画どおり進まず停滞したものでござい

ますが、その間、観光協会は打開策を講ずるべく検討されておりまして。しかしながら、価格面で源泉との調整が整わず、このままでは国の交付金事業としての温泉まちづくり事業の実施が危ぶまれましたので、町が代替案を示し、実施主体として実施の可否について、現在判断のお願いをしているところでは。

(答弁者：産業観光課長)

**Q** この事業の最高経営責任者は誰ですか。

**A** 事業主体は観光協会でございますから、観光協会会長ということになるかと思っております。

今回の交付金事業は、民間団体でなければ事業はできませんので、観光協会が主体ということですが、この温泉事業は非常に町全体の活性化、観光振興に重要な事業だと思っております。そういう意味では、私



▲圏央道市原中央 | C出口に設置された看板

の立場としても非常な重責を担うということを考えております。

（答弁者：町長）  
そういうことで、この事業について観光協会と町と、可能な限り手を結んで、両輪でやっていきたいと考えております。

（答弁者：町長）

**Q** 最近、欧米を初め日本でも、企業や自治体で多くの女性のトップや首長が誕生しています。なぜだかわかりますか。

**A** 女性ならではの繊細で優しい配慮に基づく政策の遂行などが期待されているのではないかと思います。

（答弁者：産業観光課長）

**Q** 日本の昔ながらの親父社会と違って、メンツやしがらみに囚われることより、人の幸せを最優先する柔軟さが、多くの人を引き付け、みんなが幸せを感じるのだと思います。今の温泉事業、幸せを感じられず、

みんながいやな思いをしています。

（答弁者：町長）  
しかし、町長の1期目からの温泉まちづくり計画がここで頓挫するのだったら、まちづくりにならないじゃないですか。だから、町長と賛同する人たちで組合をつくって実施してください。ただ、町から赤字の補てんをするということについては、一切この事業に関してはやめてもらいたい。どうでしょう、町長。

**A** この度の事業は、私、観光協会とも公的な立場で取り組もうとしているものです。

今ご指摘のあった「賛同する方達と」ということは考えられません。

また観光協会理事会で、ご指摘のように「赤字になったらどう解決するか」のテーマが出されました。この赤字補てんについて、2年間のご支援をさせていただく。そう私はこれから提案させていただきます。どうでしょうか、町長。

（答弁者：町長）

### 御宿駅エレベーター設置について

**Q** 御宿駅は、5時になると無人になるような駅になってしまいました。身障者の方、車椅子の方等の利用について今の状況を伺います。

**A** 御宿駅の現在の窓口営業時間につきましては、駅員1名の配置によりまして、午前7時5分から午後5時50分まで窓口営業を行っております。

その後は、駅は無人となりますが、車椅子の方の対応を含め、利用者の要望等については、勝浦駅長が窓口となり、対応にあたるということになります。御宿駅では、車椅子による乗降は、現在の体制では対応できないことから、体制を整えるために事前にご連絡をいただくことになっております。

また、近隣のエレベーター



▲ JR 御宿駅

ター設置駅である大原駅や、現在は、エレベーターはありませんが駅員対応が可能な勝浦駅へのご案内も行っていると聞いております。

（答弁者：企画財政課長）

**Q** 町長の言葉として、JRの負担と寄附口座を設けて賄えるような発言をしています。そんなことは本当に可能なのかどうかを伺います。

**A** 寄附口座を開設する際には、ある程度の見通しができないと無理があると思います。見通しが立てば、寄附口座を開設したいと思っておりますが、現時点では、そこまで進んでいない現状です。

（答弁者：町長）

**Q** 結構ハードルが高いのは、誰しもが

思うことです。そんな中で、本当にエレベーターができるのでしょうか。温泉事業と同じで、ずるずるいつても、住民の方に迷惑をかけることとなります。

御宿町は確かに高齢化社会。あれば、あつたに越したことはない。それはわかります。わかりませんが、いつできるのか。逆算で示してください。

**A** 今の時点で、いつできるかは申し上げることができませんが、2カ月に1回程度の定期的な協議を進めておきます。しかし期限なく延長することはできませんので、極力詰めた協議を続け、結論をださなければならぬと考えております。

（答弁者：町長）

## 瀧口義雄 議員

### 急がれる3つの安全施策

### 御宿台交差点に信号機設置を

**Q** 御宿台噴水公園脇の交差点は大変見通しが悪いところです。カーブミラー、注意標識、道路改良がなされてきましたが、抜本的な改良は

なされていません。依然として危険な交差点です。

御宿町は高齢化率42%、御宿台は64%、また、御宿台に保育所の建設が予定されています。交通量の増加が見込まれます。交通安全対策には信号機の設置が不可欠です。関係機関に要望している中で設置に、未だ至らない。

備状況。以上2点の質問です。

**A** 信号機の設置手順は、住民、市町村から要望書を各警察署へ提出し、各警察署が取りまとめた要望書を千葉県公安委員会に提出し、千葉県公安委員会が要望箇所を取りまとめ、要望箇所の交通量、交通死亡事故件数などを総合的に判断し、優先順位の高い箇所順に設置をしております。



▲御宿台の交差点



▲御宿台入口交差点

す。県公安委員会では、平成26年2月に信号機の設置基準を定め、1日のうち交差する道路の自動車の往復交通量の合計が、1時間で最大300台以上の交通量を超えていなければ、信号機の設置は難しいということです。しかし御宿台地区に保育所の建設計画も決定しましたので、強く要望してまいります。

また、県内の信号機の整備状況は、平成22年度は1049本の要望箇所に対し、90本の設置でした。平成23年度は、1001本の要望箇所、83本の設置でした。また、平成24年度は、992本の要望箇所について、80本の設置です。

(答弁者：総務課長)

町道0110号線、0108号線の変則交差

点について

**Q** 町道0110号線と0108号線交差点(民宿日の丸)は、御宿台の坂を下りて、道路の中央付近まで進まなければ左側の安全が確認できない状況です。日々、交通事故の危険を感じております。

是非、土地所有者のご理解とご協力をいただき、交通安全確保をして

いただきたい。

また、町道0108号線につきましては、4年前に道路測量費、約700万円が執行されておりますが、その後の進捗状況を説明していただきたい。

**A** 当該箇所については、現地の状況を確認しましたが、改善方法等について、地権者のご理解、ご協力をいただきながら、見通しの改良について対応をしたいと考えています。

また、0108号線の改良計画ですが、境界の測量は22年度に実施し、平成26年度には境界杭を設置予定です。今後、後期アクションプランでの実施計画策定のための測量、線形の検討等を踏まえ、実施に向けて事務を進めていく予定です。  
(答弁者：建設環境課長)

**防犯灯カメラの設置、防犯抑止の看板設置について**

**Q** 防犯カメラの設置については、再三質問しております。提案もしております。ちょうど1年前、この第1回の定例議会でも質問しております。

子供から高齢者まで、安全で安心して住める御宿町を目指していただきたいと思っております。犯罪防止に配慮したまちづくりの推進、救える命があります。防げる犯罪があります。災害から迅速な避難が可能でございませぬ。

個人情報保護法は十分に理解しています。監視社会になってはいけません。しかしながら、御宿町は高齢者社会です。また、観光客も多く来町されます。町内外でも多くの行方不明者の事案が発生しております。子どもを巻き込んだ事件も発生しております。カメラの設置は犯罪の抑止にもつながります。認知症の対応にも迅速に対処できます。

不明者捜索にはマンパワーだけでは限界があります。早期、初動捜索が解決には一番です。質問が4点ございませぬ。直近のいすみ警察署管内の行方不明者数、また御宿町ではどのくらいですか。また、千葉県のカメラ設置の助成制度に関して。防犯カメラの先進地事例と新たな設置に向けての動き。地域の理解を得ながら、関係機関と共にカメラ設置に向けての委員会を立ち上げる考えはございますか。

質問の1点目のいすみ警察署管内の今年度の行方不明者数は、管内で9名でございます。うち、町内では2件ですが、事件として取り扱わなかったものも含めて防災無線は4回流しています。

2点目の県の防犯カメラ助成事業についてですが、県では、平成26年度から新規で市町村防犯対策設置事業補助事業を予定しており、ひたたくりや自動車、自転車、盗難、車上狙いを防止するため、市町村が設置する防犯カメラ事業に対して、1台につき20万円の補助金を助成することとさせていただきます。

新年度に補助金の詳細について調査し、各区や関係機関の要望も聞きながら、補助金を有効活用し、防犯カメラ設置に向けた箇所の選定をするなど、効果的で効果的な防犯カメラの設置に努めたいと考えています。

また、防犯カメラの先進事例、新たな設置という質問ですが、防犯カメラ付き自動販売機がございませぬ。概要といたしましては、自動販売機メーカー側が地域貢献の一環として、防災、防犯のため、監視防犯カメラのためのサインエージ電子看板を無料で設置するという事業です。

最後に、地域の理解を得ながら関係機関との防犯カメラの設置について委員会を立ち上げて進めてまいります。

### 監視カメラの活用例



▲東日本大震災で津波の被害にあった宮城県女川町では、災害に強いネットワークが計画され、海岸に監視カメラを設置し、地震などの緊急時に夜間でも海岸が監視できるようになっています。

## 土井茂夫 議員

### 災害に強いまちづくりについて

### 台風26号及び大雪対策について

**Q** 台風26号によって町道2路線が通行止めになりました。2月14日の大雪でも同じ路線ともう一つ追加された3路線が通行止めになりました。

**A** 交通機関が長期間にわたって欠けるということは、町民の利便性を失うわけです。この次に、この路線が通行止めにならないように、先手を打つべきです。それについての考えを伺います。

**A** 土砂崩れ等の発生の関係や所有形態といったものを考慮しながら、関係機関と協議し、検討を進めていきたいと思えます。

また、倒木については被害軽減ということで、日常管理の啓発も必要になってくると考えております。定期的にお知らせ板等では日常管理についてお知らせをしています。が、今後地元行政区と意見交換をしながら、土地の所有者の皆様が日常管理について伝えてまいります。

**Q** とき、避難所を中学校に開設した。その中で、この避難所にどういう地区の方が何人避難していたかを伺います。

**A** 台風26号について、11名の方が御宿中学校体育館へ自主避難をされています。行政区ごとでは、浜で1名、久保で4名、新町で3名

岩和田から3名、この11名の方が自主避難をされています。また台風27号のときは7名の方が同じく御宿中学校体育館に自主避難をされ、新町3名、浜1名、久保1名、六軒町1名、岩和田1名の状況になっていきます。

**Q** 浸水対策は、避難者の区域が危険であることを踏まえて、行政に生かしていただきたいと思います。

**Q** 平成24年度に普通河川清水川治水対策設計検討書が作成されたが、平成25年度清水川治水対策として何を実施したのか伺います。

**A** 清水川の河口から2級河川となつていくことから、県へ現況調査を相談したことがございます。現況調査の中では、将来的な対応とし

て清水川が蛇行する箇所改良、多額の事業費となつていきます。実現可能な事業を検討し、事業化の調整を今後進めていきたいと考えております。

**Q** 大事な洪水対策を第4次町総合計画アクションプランの中になぜ入れなかつたんですか。これは載せてもらわないとこまるんです。

**A** 清水川の関係する洪水対策は、以前から非常に問題になっておりまして、いろいろ調査も行ったところでございます。そういったことに基づきまして、ご意見ご提案を充分に検討させていただきます。

**Q** この検討書には、線路の向こう側の海側が抜けております。海側の洪水対策も同じ流域ですから検討してください。

**A** JR線路海側の流域は、ご指摘のとおりこの評価の中に、詳細な評価は入ってございませんので、今後加えながら検討したいと思えます。

**Q** 各区から避難路の要望箇所を執行部から区長会に働きかけて

選定してもらいましたが、どついう整備手法が進めていくのか伺います。

**A** 避難路として整備するための要望調査を、昨年6月の区長会へ依頼をしました。結果、須賀区で4路線、浜区で2路線、六軒町で1路線の7つの赤道を、避難路として整備したいという要望がございました。



▲避難訓練の様子

26年度の避難路の整備については整備の協力をいただける区と町、自主防災組織や住民の皆さんと協働で草刈りや路面の整備を実施したいと考えており、26年度に予算要求をしています。

また、過去にボランティアの皆さんのご協力をいただいで整備したという実績がありますので、この辺についても状況を見て判断してご協力いただきたいと考えております。

(答弁者：総務課長)

**Q** 避難ビルの指定と  
いうことで地曳橋の周辺にはマンションが6棟ございます。

いま現在、2棟が避難ビルです。

津波が来たときには避難者がどこでも逃げられる形にしていくことが、1人でも多くの命を助けるのだと思います。いろいろな問題があると思いますが、すくなくとも1棟でも多く避難ビルにしてみたい。

**A** 清水川付近のマンション6棟あるうち2棟と協定を結んでおります。残り4棟のうち2棟は耐震基準にそぐわないという状況で、残り2棟については、協定を結べない理由として、

非常に老朽化や夜間に管理人がいけないという状況です。うち1棟については、管理組合の代表の方へ町の考えを示して、引き続き協力をお願いしました。もう1棟についても協力をお願いしてまいりたいと思います。

また、岩和田の高台の民間の施設については、協定はありませんが、人道的支援の観点では、地元の方が困っている場合には、援助、支援の力をいただけるものと考えています。

千葉工業大学セミナーハウスについては、今後町と千葉工業大学がいろいろな協定の話はいただいております。そういった中でも災害時の協定に



▲路面整備が終わった朝市通り

ついて協議を進めていきたいと思っています。浜のビルについても今後検討したいと考えています。

(答弁者：総務課長)

**Q** 水たまりゼロプロジェクトについて

この水たまりゼロプロジェクトとは、正直思いました。特に、厳

冬期夕方に雨が降って水たまりができて、朝、その水たまりが凍るんです。すごく危険です。そういう水たまりを解消できるとい意味でいいプロジェクトだと思いま

した。水たまり解消の方法、どういう方法でそれを解消していくのか伺います。

**A** 水たまりゼロプロジェクトは、道路

点検を行いながら、小さなものはアスファルト凝固剤にてその都度補修を行っております。

大きめの水たまりが生じている箇所については、現場の状況を確認し、排水のための溝を切るなどの対応をしています。区からの要望等については、可能な箇所から適時可能な限り対応し、その結果を行政区にお伝え

しています。

比較的大きな水たまりは、町内に何箇所かありますが、簡易な方法ではなかなか解消できないために、現場を確認した上で通学路、観光施設周辺、交通量等によりまして優先順位を決めながら、計画的に解消を図っていきたく考えています。

(答弁者：建設環境課長)



## 石井芳清 議員

### 町長の政治姿勢について

### 温泉まちづくりについて

**Q** 今後の事務の方向性としてはどういうことがあるのでしょうか。

**A** 観光協会の理事会が14日に予定されています。

この理事会において補助金交付金事業としての温泉まちづくり事業を実施するというような判断であれば、議会に繰越しの手続をとることになります。その前に総務省へ事業内容の変更を出します。あとは財務省の手続になります。財務省も繰越しが了解だということになります。議会へ新年度予算への予算繰越をお願いします。

理事会で協会としてこれは実施しないということになれば、総務省へ事

業の中止の申請をして、

議会には6月議会で可決いただいた1350万円の予算の減額をお願いしたいと思っています。

(答弁者：産業観光課長)

### 大震災から3年、防災のまちづくりの到達と課題について

**Q** いくつか町は避難所を設定してあるかと思いますが、マニュアルがどうなっているのかについて伺います。

**A** 町の避難所運営マニュアルについて現在策定しており、各課との最後の打ち合わせを行っています。

またこれに基づき、昨年11月に職員の避難所開設訓練を実施しており、年度内に完成する見込みです。

(答弁者：総務課長)

**Q** この避難マニュアルは、ただ公表すると、例えばインターネットか何かに掲示して

終わりにするのですか。

**A** 避難所の運営マニュアルについては、各避難所に設置するとともに、各地区の自主防災組織のリーダーに配付したいと考えています。

また、自主防災会のリーダーの講習会を26年度に予定していますので、この中でも説明してご理解をいただきたいと考えています。

(答弁者：総務課長)

**Q** 避難所は、福祉避難所を含めて、それぞれの目的を持っていきます。大規模災害が、例えば今日、この時間起きた場合、どこにどうやって逃げていけばいいのか。そういう情報は、示されているのか。

また、数値目標を持って、何年度までにこまめに整備すべきだということも議論が必要だと思いますが如何ですか。

**A** 現在、備蓄品につきましては、役場、御宿小学校と布施小学校、旧御宿高校に備蓄しており、台帳で管理しています。今後はホームページ等でどこにどれだけの備蓄があるかを公表したいと考えています。

(答弁者：総務課長)

**Q** 避難所において、マニュアルとともに備蓄状況がどうなっているのかを、大きく張り出すべきだと思いませんか。100%じゃなくてもいいから、公表できるものは公表しておく、変化すれば書きかえるとい

うことが危機管理じゃないですか。

**A** 早急に対応したいと思いますが。

(答弁者：総務課長)

### 雪害対策について

**Q** 2月8日から15日にかけての大雪と大雨被害。停電については同時多発に発生しましたが、それについての今後の対応を伺います。

**A** 停電が町内全域にわたり、東電へ電話をかけても出ないというところで、住民の皆様か

ら役場へ照会の電話がかなり寄せられました。

防災無線でお知らせするとしても、東電からの依頼がありませんので、今停電が発生しているという状況だけの放送をしました。

今後、東京電力のほうに申し入れたいと思いますが、停電が長時間にわたる場合は、町に東京電力の職員を派遣してもらって、いつ直るんだと、いうことを自社内で確認してもらい、その情報が確かであれば、防災無線で住民の皆さんにお知らせしたいと思います。町だけでは対応できないものが多々あったのが今回の現状です。

(答弁者：総務課長)

**Q** 防災計画の中に積雪についての具体的な記述がないというふうに理解しております。今後、積雪についても、具体的なマニュアルづくりが必要だと思いますが如何ですか。



▲中学校体育館の備蓄庫

**A** 中期防災計画の風水害編にて対応することになっていきますが、今般関東、また山梨等の被災状況を見ますと、孤立地区も発生しているという状況ですので、今後研究したいと考えています。  
(答弁者：総務課長)

**Q** こうした特別な災害状況については、町のホームページで情報を一元化する。特に、通行止め情報です。国・県道については積雪での通行止め情報が、具体的にナビで確認できます。リアルタイムにそうしたものが表示できるように調整を図り、情報を共有すべきだと考えますが、如何でしょうか。

**A** 今後道路情報として、ホームページ上に通行止めのお知らせ等を掲載していく予定です。また、町のツイッターから状況がわかるように対応したいと思います。ナビによる通行止めの

情報について今の段階では地方の市町村道については未対応ということですが、今後情報を確認し、利用方法について検討したいと考えております。  
(答弁者：建設環境課長)

**Q** 広域ごみ処理施設の説明会が先般行われましたが、大きな課題として、生活道路であり、搬入路である県道174号線の整備と、ごみ減量があると認識しています。今後どのように対応していくのか伺います。

**A** 広域ごみ処理施設の説明会を2月16日に上布施、実谷、七本地区を対象に開催しました。このときの参加者が38名でした。今後のスケジュールは、25年度から26年度にかけ、施設計画の検討と工事発注の手続を進め、26年度に造成工事、27年

度末ごろより施設建設工事、平成30年からの供用開始を予定しております。また、環境影響調査については4月に公告縦覧に供する予定と伺っています。  
県道整備については、要望が非常に強く、引き続き整備に向け要望したいと考えています。

また、ごみの減量化については、現在1人あたり約1200グラム程度、21%程度の減の結果が出ています。平成30年ごろの目標値につきましては、現状を検証して新たな目標値を検討し、設定したいと考えています。  
(答弁者：建設環境課長)

**Q** 環境カレンダーについて9月の定例会で見にくいという指摘がされました。今後の対応について伺います。

**A** 改善の目的で作成したものが、逆に町民の皆さんにわかりにくいという指摘です。



▲従来の環境カレンダーも再発行されました。

で、検討させていただき  
ます。  
(答弁者：町長)

### 交流事業について

**Q** 交流事業での歓迎レセプション、学校での交流など、これにかかった経費について伺います。

**A** バルカサル市長の来町に際して、歓迎レセプションは参加した皆様に費用のご負担をいただきました。通訳は在京メキシコ大使館の計らいにより無料でお願いができ、宿泊は千葉工

業大学の御宿研修所を安価でご提供いただくなどで、記念品の姉妹都市協定書のレプリカの作成費を含めた3泊4日の総額で、35万8408円です。  
(答弁者：産業観光課長)

**A** 中学校、御宿小学校、布施小学校に來校していただいたところでありますが経費は特にかかっていません。  
(答弁者：教育課長)

**Q** 今後、野沢温泉村の交流も含め、民間を主体として、やはり身の丈に合った持続できる事業を基本にすべきだ

と思います。

特に、今回の市長を招いた事業は、そうしたご協力をいただいた方々への感謝を表す意味で、賛同者の名前や協力内容、また費用についても公式の場で表明すべきではないでしょうか。

**A** ご指摘、ごもっともでございますので、関係機関やお世話になった皆様方には、そのような意思を申し述べておりますが、町民の皆さんに広報していきたいと思えます。

(答弁者：町長)

# 3月定例会議事日程

平成26年第1回定例会議事内容と結果は次のとおりです。

3月10日 日程第1号は一般質問となりました。詳細は、2ページの一般質問をご覧ください。

## 3月11日 日程第2号

議案	件名	議決結果
議案第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度御宿町一般会計補正予算 第6号)	承認
議案第3号	御宿町企業誘致及び雇用促進に関する条例の制定について	可決
議案第4号	御宿町教育振興基金条例の制定について	可決
議案第5号	一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する 条例の制定について	可決
議案第6号	御宿町社会教育委員の定数等に関する条例の一部を改正する 条例の制定について	可決
議案第7号	御宿町行政改革大綱の策定について	可決

## 3月13日 日程第3号

議案	件名	議決結果
議案第8号	平成25年度御宿町水道事業会計補正予算(第4号)	否決
議案第9号	平成25年度御宿町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第10号	平成25年度御宿町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第11号	平成25年度御宿町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第12号	平成25年度御宿町一般会計補正予算(第7号)	可決
議案第14号	平成26年度御宿町国民健康保険特別会計予算	可決
議案第15号	平成26年度御宿町後期高齢者医療特別会計予算	可決

## 3月24日 日程第4号

議案	件名	議決結果
議案第18号	平成25年度御宿町水道事業会計補正予算(第5号)	可決
議案第20号	平成26年度御宿町水道事業会計予算	可決

## 3月26日 日程第5号

議案	件名	議決結果
議案第19号	平成25年度御宿町一般会計補正予算(第8号)	否決
議案第16号	平成26年度御宿町介護保険特別会計予算	可決
発議第2号	議案第17号 平成26年度御宿町一般会計予算に対する修正動議	可決
議案第17号	平成26年度御宿町一般会計予算	修正可決
発議第1号	町道0110号線危険箇所に係る信号機設置に関する意見書の提出について	可決
請願第1号	広域ゴミ処理施設建設にともなう県道の整備を求める請願書について	採択
発議第3号	広域ゴミ処理施設建設にともなう県道の整備に関する意見書の提出について	可決

# 審議しました

専決処分1件、条例制定・改正4件、策定1件、補正予算等を審議し、可決されました。

## 専決処分

### 平成25年度御宿町一般会計補正予算 (第6号)

平成26年2月14日から15日にかけての大雪・大雨・強風による災害復旧費について緊急を要するため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行いました。  
歳入歳出590万円を追加し、予算総額を31億9081万円とするものです。

## 選任

### 固定資産評価審査委員会委員の 選任について

平成26年3月31日の任期満了に伴い河崎修政氏（久保）が選任されました。

## 条例制定・改正

### 御宿町企業誘致及び雇用促進に関する 条例の制定について

この条例はアクアライン通行料金値下げの社会実験や圏央道の延伸により、夷隅地域への企業立地の可能性が高まったことを受け、企業進出のための優遇措置と推進、町産業振興と住民の雇用機会の拡大を図ることを目的としています。

### 御宿町教育振興基金条例の制定について

この条例は教育の振興や将来を担う子ども達の人材育成のための財源を蓄えることを目的としています。

### 一般職の職員の給与等に関する条例の 一部を改正する条例の制定について

この条例は千葉県人事委員会勧告に準じ、55歳を超える職員給与の昇給を見直し、当分の間は1号給の昇給ができるよう改正するものです。

### 御宿町社会教育委員の定数等に関する条 例の一部を改正する条例の制定について

この条例は社会教育法の一部が改正され、法律で定めていた社会教育委員の委嘱基準が削除されたため、当該条例で定めるものです。

## 策定

### 御宿町行政改革大綱の策定について

平成26年開始の第7次行政改革大綱は、第6次行政改革大綱の検証結果をもとに、「笑顔と夢が膨らむまち」を目標とした町総合計画の実現に向けて策定しました。

「協働と連携によるまちづくりの推進」、「効率的な行政運営の展開と職員の人材育成」、「健全財政運営の推進」の3つの体系から成り立ちます。

## 補正予算

### 平成25年度御宿町一般会計補正予算 (第7号)

補正内容は、教育振興に活用するための教育振興基金積立や災害復旧工事費などの費用の追加となりました。

また、年度内に終了することができない事業については、翌年へ事業の繰越を行いました。

歳入歳出それぞれ7030万円を追加し、予算総額32億6111万円とするものです。

### 平成25年度御宿町水道事業会計補正予算 (第5号)

補正内容は、補正予算(第4号)の否決に伴い、事業内容を精査し再提出しました。浄水場汚泥処理委託業務委託費などを減額し、緊急で必要となりました送水ポンプ更新工事などに組替えて事業を行います。

収益的収入及び支出予算を560万円減額など、水道事業予算額を3億7324万3000円とするものです。

### 平成25年度御宿町介護保険特別会計補正 予算(第3号)

補正内容は、居宅・施設介護サービスの利用が増加したことにより費用の増額となりました。

歳入歳出それぞれ4303万7000円を追加し、予算総額を9億66万5000円とするものです。

### 平成25年度御宿町後期高齢者医療特別会 計補正予算(第2号)

補正内容は、医療保険料と保険基盤安定拠出金の精算による減額となりました。

歳入歳出それぞれ159万8000円を減額し、予算総額を1億2229万5000円とするものです。

### 平成25年度御宿町国民健康保険特別会計 補正予算(第2号)

補正内容は、短期人間ドック受診や特定健康診査等の受診者の減少により減額となりました。

歳入歳出それぞれ851万2000円を減額し、予算総額を13億1838万3000円とするものです。

# 平成 25 年度水道事業会計補正予算（第 4 号）の否決、 平成 26 年度水道事業会計予算の撤回について

水道事業は、水道法第 1 条に規定されているとおり、計画的な整備が求められています。また、町の浄水場設備は設置から 36 年経過しており、耐用年数を大幅に超えた機器が多数あることから、計画的な機器の更新や施設改修を進める必要があります。

しかし、町浄水場では機器の計画的な更新がされておらず、また平成 25 年度当初予算に計画された機器更新の事業費を執行せずに、本来、新たに補正予算を組み対応すべき年度途中でおきた故障の修繕へ組み替えて運用がされていました。さらに多くの事業が年度後半に執行され、修繕計画の不備や適正な業務の執行がされていないことなどから、審議の結果、補正予算（第 4 号）は賛成少数で否決となりました。

補正予算（第 4 号）が否決となったため、補正予算を受けて調整されていた平成 26 年度水道事業当初予算は撤回となりました。



▲平成 25 年度予算に修繕費が計上され、執行されず平成 26 年度に繰越された浄水場掻き寄せ機

## 水道事業の目的

第一条 この法律は、水道の布設及び管理を適正かつ合理的ならしめるとともに、水道を計画的に整備し、及び水道事業を保護育成することによって、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とする。（水道法より抜粋）

## 水道当初予算額

収益的収入及び支出	
水道事業収益	3億 4,503万円
水道事業費用	3億 3,108万円
資本的収入及び支出	
資本的収入	283万円
資本的支出	7,141万円

## 修正項目

### 補正予算（第 5 号）

否決された補正予算（第 4 号）は平成 25 年度予算を精査し、工事請負費を 1,800 万円の減額から、1,520 万円の減額に改めました。その後、補正予算（第 5 号）として上程され、賛成多数で可決されました。

### 平成 26 年度当初予算

撤回された水道事業当初予算は、議会の指摘を受け、中長期に必要な改修計画作成のための施設現況調査委託費 100 万円および他の水道施設の視察経費 2 万円、また大雪により被害のあったダム内の管理用道路の復旧工事費が追加され、賛成多数で可決されました。

## その後

4 月 14 日に開催された産業建設委員会協議会において、水道事業の計画的な運用や各種工事の執行計画について、担当者から具体的な説明を受けるとともに、今後事業の進捗状況について委員会への定期的な報告を求めることなどが協議されました。

# 予算審議について

## 平成 25 年度一般会計補正予算（第 8 号）の否決、 平成 26 年度一般会計予算に対する修正動議について

### 補正予算否決

歳入歳出 1,350万円の減額 予算総額 32億 4,761万円

#### 【内容】

「御宿温泉まちづくり事業」に係る予算について、減額補正が上程されましたが、賛成少数により否決となりました。

#### 【経過】

平成 25 年度の「御宿温泉まちづくり事業」は、国の「地域経済循環創造事業交付金」を活用し行うこととしていました。この事業は、民間団体が実施主体となることが条件であることから一般社団法人御宿町観光協会が実施主体として進めておりました。

この間、具体的な運営方法の協議が重ねられてきましたが、理事会で実施の合意が得られず、年度内に本事業の予算が執行できなくなりました。そのため、交付金 1,350万円を減額する補正予算案が上程されたものです。

### 当初予算修正動議

発議第 2 号 提出者 滝口一浩 賛成者 貝塚嘉軟・土井茂夫

地方自治法第 115 条の 3 及び会議規則第 17 条第 2 項の規定により、修正案を提出する。

#### 【提案理由】

地域経済循環創造事業交付金 1,350万円を活用した当初の事業計画が破たんし、事業主体である一般社団法人御宿町観光協会が事業継続しないことになった。平成 26 年度一般会計予算に必要な予算の修正を求める。

#### 【内容】

平成 25 年度一般会計補正予算（第 8 号）の否決を受け、平成 26 年度当初予算に新規事業として計上された「御宿温泉まちづくり事業補助金（100万円）」に対し、修正動議が提出され可決されました。このことから、修正前の当初予算額 31 億 3,600 万円から本補助金 100 万円を除いた予算額が平成 26 年度一般会計予算として、改めて審議されることになりました。

### 温泉まちづくり事業開始！

国の交付金や、町の補助金を活用せず、御宿温泉組合が設立され今年 4 月から温泉事業が開始されました。



◀ 御宿温泉組合オリジナルデザインのスッテッカー

### 「修正動議」とは？

原案に対し、議員が修正の提議を行う時に提出する動議のことです。

この動議については、案を備え、文書により議長に提出することになっています。

修正案が可決された場合、原案のうち修正部分については、採択の余地はなくなります。

# 新年度予算可決しました

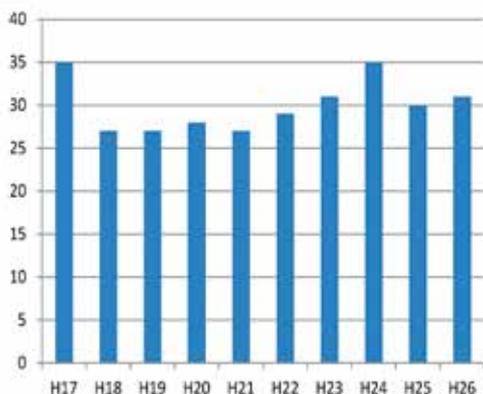
## 平成 26 年度一般会計予算 31 億 3,500 万円

修正動議を受け、当初提案された予算案から 100万円減額した  
予算となりました

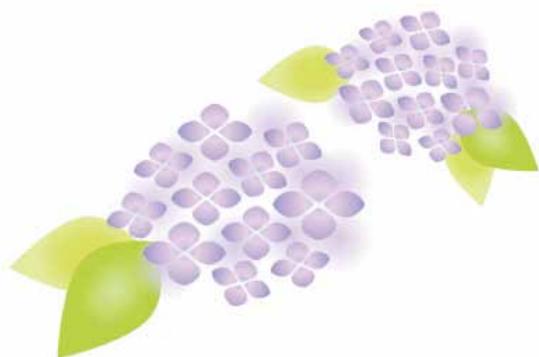
### 前年比 4.5%伸び

平成 17年度から 26年度までの予算総額

単位: 億円



平成 26年度は地域の元気臨時交付金を活用した野球場トイレ建設等、国の施策である臨時福祉給付金や、消費税率改正の影響などにより、増となりました。



平成 26年度始動にむけてここに重点をおきました。

### 1 歳入確保に向けた取組みの強化

町税をはじめとする自主財源の増収  
国県支出金の活用と有利な条件の地方債発行  
計画的な基金繰入

### 2 第4次御宿町総合計画に基づく適切な事業費計上と重点配分

事業の精査  
真に必要な事業への重点配分

## 予算の使い道

新年度の新規事業で主な事業は、デマンド型公共交通の整備に 594万円、高齢者の働く場の環境づくり事業 217万円。小学校の擁壁の補修、トイレの洋式化、そして中学校の太陽光パネル設置のための設計委託など安全快適に学習できる教育施設の整備に 2,047万円。中小企業等へのホームページの作成費補助、利子補給助成など 255万円が主なものです。

## その他の会計当初予算額

### 国民健康保険特別会計

予算総額 13億 2,926万円

### 後期高齢者医療特別会計

予算総額 1億 2,397万円

### 介護保険特別会計

予算総額 9億 1,231万円

## 新年度予算に次の事業が加わります

子ども・子育てシステム導入事業	350万円
布施学校組合負担金	129万円
公共土木施設災害復旧事業	1,470万円
農地農業用施設災害復旧事業	135万円
林業施設災害復旧事業	1,100万円
合計	3,184万円

上の事業が 25年度から 26年度に繰り越され、町長は次の議会に報告することになっています。

## 反対討論

石井芳清 議員

私は、平成 26年度御宿町一般会計予算案に反対の立場から討論をおこないます。

政府は3月20日に4月からの消費税増税を強行する過去最大の総額95兆8,823億円にのぼる2014年度一般会計予算を成立させた。

この予算は、消費税率8%への引上げ分だけで史上空前の8兆円もの大增税となり、さらに、「消費税増税分は全額社会保障費にあてる」との政府の説明に反し、年金や医療、生活保護など社会保障の給付は軒並み削られるなど、増税とサービスカット合わせて10兆円とも言われる負担を国民に押し付ける一方で、大企業には復興特別法人税の1年前倒し廃止などで優遇し、軍事費は2年連続で増額するなど、国民の暮らしを破壊し軍拡をすすめる予算となっている。政府は今からでも緊急に消費税増税を中止し、国民の暮らしを守る予算に転換すべきである。

こうした暮らし福祉切捨てるの国の政治から、町民の暮らしを守り希望あるまちづくりをどう進めるのかが問われています。

しかし、いまの御宿町は、町長ご自身の公約である温泉まちづくりにおいて、町のビジョンを示せぬまま、観光協会の温泉まちづくり事業の費用の一部として国から交付決定を受けた地域経済循環創造事業交付金 1,350万円を取下げなど、トップとしての信頼が揺らいでいます。さらに事務においても、水道事業補正予算の否決にみられるように、政策立案、執行、連携など事務執行の基本に多くの課題を抱えています。

御宿町はわずか25平方キロに8,000人の住民が住む小さな町ですが、歴史、伝統、文化、海山の食材、どれをとっても他から秀でたものを持っています。なによりも人気(じんき)あふれる町です。類似団体の予算規模から5億円も多い31億円の予算を有効に使うことができるならば希望あるまちづくりは可能です。

平成 25年度も残り僅か数日です。この1年間それぞれの職責にあるものが、何が足りなかったのか、どうすればよい結果が生まれたのか、真摯な反省を求めるものです。

そして4月1日から新たな御宿丸が船出できるかどうか、すべて町長ご自身にかかっていることを申し上げて反対討論を終わります。



◀子ども達の笑顔のために

る要望書及び、広域ごみ処理場建設にともなう県道の整備に関する意見書を関係機関に提出しました。

請願

## 広域ごみ処理施設建設にともなう 県道の整備に関する意見書

提出者：石井芳清 賛成者：小川征・大地達夫・新井明



▲平成 26 年 4 月 30 日(水) 請願提出者の永石上布施区長、石田町長、中村議長、紹介議員の小川・大地・新井・石井議員の 4 議員が夷隅土木事務所を訪問し、所長へ意見書を提出しました。

御宿町上布施コミュニティ消防センターにおいて夷隅郡市広域市町村圏事務組合より地域の懸案である夷隅郡市広域ごみ処理施設建設の住民説明が行われ、夷隅郡市広域ごみ処理施設は平成 30 年の完成をめざすことと合わせて、御宿町からのごみの搬入計画は県道 174 号線勝浦布施大原線を使用するとの説明を受けた。

かかるこの道路は区民にとっても生活道路であり、尾根を通りカーブと坂道で幅員も狭く普通自動車でも対向車との交差に支障をきたす状況で、この間も県当局に対し整備の要望を求めてきたところであるが、ごみ処理施設が稼働し清掃車等の大型車が頻繁に通行することによる交通事故等の増大が懸念され、交通の安全を確保するために全面整備が急務と考える。

夷隅郡市広域ごみ処理施設の供用が開始されるまでに県道 174 号線の上布施から広域農道間の全面整備及び道路整備にあたり線形や安全対策等、地元と協議の場を持つことを求める。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 26 年 3 月 26 日

千葉県知事 鈴木 栄治 様

### 請願とは

請願とは、国民をはじめ、広く人々が国又は地方公共団体に対し、所管する事項に関し、一定の措置をとるよう、あるいはとらないよう希望し、申し出ることをいいます。

請願は次のように処理されます。

- ① 請願の提出を受け、議会運営委員会に付託
- ② 付託された委員会は採択・不採択の審査結果をまとめ、議長に報告
- ③ 委員会の審査結果をもとに、本会議で採択・不採択を議決
- ④ 採択・不採択した請願は必要な処理をする。

### 手続きの方法

議長あてに議員の紹介により請願書を提出してください。

【記載内容】

請願の趣旨、提出年月日  
請願者の住所・氏名・押印  
紹介議員の署名又は記名押印

# 意見書、請願を採択しました

平成 26 年第 1 回定例会において採択された、町道 0110 号線危険箇所に係る信号機設置に関する

議員発議

## 町道 0110 号線危険箇所に係る 信号機設置に関する意見書

提出者：瀧口義雄 賛成者：貝塚嘉軌



▲平成 26 年 5 月 7 日(水)石田町長、中村議長、提出議員の瀧口義雄議員、設置要望区の西浦御宿台区長により、警察署長に宛てた内容と同様の要望書を千葉県議会議員の小高伸太氏に手渡しました。



本路線は国道128号線と県道勝浦・布施・大原線バイパスをつなぐ町の主要幹線道路であります。また、沿線の御宿台区は町の最大行政区として着々と人口が増加しており、館山道の全線開通やちば圏央道の開通と合わせ、交通アクセスの向上に大きな役割を担っております。

しかしながら、当該路線は街区と街区を結ぶ交差点においても信号機の設置がされておらず交通上大変危険であり、地域住民方も信号機の設置を求める声が強くなっているところです。また、御宿台区は65歳以上人口(H26.1月末)が64.3%と高齢化率の進展が著しいことに加え、近傍地に保育所移設も予定され、送迎等で今後ますます交通量の増加が見込まれる中で、交通の安全性の確保に向けた信号機の設置は最も重要な課題であると考えます。

これまで、町においても減速を促す路面舗装や注意看板の設置、見通し確保のための樹木の伐採など、様々な対策に取り組んでいるところですが、依然として非常に危険な状況が続いており、交通事故リスクの高い子どもや高齢者を守るうえで、信号機による規則的な交通秩序維持を図ることは必至であります。

よって、地域住民の安全・安心な生活環境を確保し、未来を担う子どもたちが安心して過ごせる保育所環境を構築するため、地域の実情をお汲み取りのうえ、町道0110号線噴水広場脇交差点へ信号機を設置されるよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成26年3月31日

いすみ警察署長 大山 邦英 様

### 発議とは

議会の会議において、議員が議事の対象となるべき問題を議長に提出することを言います。

# 議会トピックス

広域ごみ処理施設建設説明会、ポンプ車の配備、中学校グラウンド視察など、さまざまな出来事がありました。

## 広域ごみ処理施設建設説明会

2月16日、上布施・実谷・七本地区を対象に夷隅郡市広域市町村圏事務組合の太田管理者・石田副管理者が出席し、広域ごみ処理施設の説明会が行われました。

この施設は、平成25年度から26年度にかけ施設計画検討と工事発注、平成26年度に造成工事、平成27年度末から施設建設工事を経て、平成30年から供用が開始される予定です。

この説明会では、施設へごみを搬入するための県道の整備要望、たい肥化处理、指定袋の取扱いについて参加者から意見をいただきました。

説明会を受け、上布施区から県道整備の要望の請願が議会に提出されましたので、意見書として千葉県知事へ提出しました。



▲上布施コミュニティセンターでの説明会



▲役場消防本部前で行われた納車式

## ポンプ車納車

2月22日第2分団(新町区・六軒町区)に真新しい消防車が納車され、貯水型の消防車からポンプ自動車へ入れ替えを行いました。

御宿町に配備されている消防ポンプ車は、可搬型小型ポンプを搭載し、消防活動に役立てています。

地域防災活動の役割を担う重要な車両です。今後の活動が期待されます。

## グラウンド完成披露会

御宿小学校校舎耐震改修を優先したために中学校校舎建設から8年を経て体育館建設、グラウンドとすべて整備が完了しました。

議会では3月5日に教育施設建設委員会のみなさんと整備されたグラウンドや体育館などを視察しました。新しく整備されたグラウンドで行われる行事に皆さんの笑顔と歓声が響きわたることを期待しています。



▲グラウンドの整備状況を確認しました。

# 議会議員活動情報

(平成26年2月～5月)

町議会議員の出席した会議や行事などを紹介します。

## 2月

- 5日 夷隅郡町村議会議長会議員研修会
- 6日 議会だより編集委員会
- 7日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 12日 教育民生委員会協議会(第2回)  
総務・産業建設合同委員会協議会(第2回)  
総務委員会協議会(第1回)
- 14日 区長会と議会の懇談会
- 19日 例月出納検査
- 20日 夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会定例会
- 21日 布施学校組合定例会  
消防団活性化検討委員会  
議員協議会(第3回)
- 22日 第2分団消防ポンプ車納車式
- 25日 国保国吉病院例月出納検査
- 28日 御宿町・中央国際高等学校連絡協議会  
保育所施設建設委員会

## 3月

- 4日 定期監査
- 5日 御宿中学校屋外運動場見学会
- 7日 議員協議会(第4回)
- 10日 定例会(第1回) 日程第1号
- 11日 定例会(第1回) 日程第2号
- 12日 御宿中学校卒業式
- 13日 定例会(第1回) 日程第3号
- 17日 国保国吉病院議会定例会
- 18日 中央国際高等学校開校式
- 19日 布施小学校・御宿小学校卒業式  
議員協議会(第5回)
- 24日 定例会(第1回) 日程第4号
- 26日 定例会(第1回) 日程第5号 /  
議員協議会(第6回)
- 28日 商工会青年部と議会の懇談会

## 4月

- 4日 例月出納検査 / 布施学校組合定期監査  
地域公共交通活性化検討会議
- 7日 夷隅郡議会議長会監査 / 総会
- 8日 御宿中学校入学式
- 9日 御宿小学校・布施小学校入学式
- 14日 産業建設委員会協議会(第3回)
- 18日 全員協議会(第1回) / 議員協議会(第7回)
- 23日 例月出納検査
- 24日 定期監査
- 25日 国保国吉病院監査
- 30日 夷隅土木事務所意見書提出

## 5月

- 7日 小高伸太県議会議員意見書提出
- 12日 総務委員会協議会(第2回) /  
議会改革と政策提言委員会(第2回)
- 15日 議会だより編集委員会 /  
議員協議会(第8回)
- 19日 総務委員会協議会(第3回) /  
産業建設委員会協議会(第4回)
- 20日 教育民生委員会協議会(第3回) /  
農業委員会
- 21日 議会だより編集委員会 /  
商工会通常総会

## 次の定例会予定

# 6月中旬

手続きは簡単!  
3階で住所と名前  
皆さん傍聴に来てください を書くだけです。

# 町の将来について話し合いました

平成26年2月14日には区長会、3月27日には商工会青年部と懇談会を行いました。議会では皆さまからの意見・要望等について応えられるよう町と共に取組んでいきます。



▲区長会との懇談会

## 区長会

行政区の代表である区長と懇談しました。

今後の消防団の有り方や、議会運営に関する事など、日頃からの疑問を解決するべく、様々な意見が出ました。主な意見は次のとおりです。

- ・消防団員の確保について。
- ・誇りのある町づくりなど、協働と連携について。
- ・請願の取扱いについて。など

## 商工会青年部

商工会の若手が組織する青年部12名と懇談しました。

御宿町の将来を担う地元の青年と熱い議論を展開しました。主な意見は次のとおりです。

- ・町づくりの方向性について。
- ・情報公開と町のPR活動について。
- ・保育所の新設について。
- ・住民要望と速やかな行政の対応について。
- ・えびアミーゴの利用について。など



▲商工会青年部との懇談会

※ 町ホームページでは、トップページ、御宿町議会からスケジュールや議会情報等がご覧いただけますので、ご利用ください。 町ホームページアドレス <http://www.town.onjuku.chiba.jp/>

## 編集後記

若葉の緑と青い海、美しい景色が一層輝きはじめドライブやウォーキングなどを楽しみたくなる季節となりました。さて、2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定いたしました。その誘致活動では、日本の「おもてなしの心」が話題になりました。5月から役場に総合案内が設置され、役場を訪れた方から用件を伺い、わかりやすく担当部署などを案内する住民サービスが始まりました。来庁者の目線で言葉と心のキャッチボールを大切にしたいと思えます。また、観光客の皆様にも御宿を楽しみ、思い出づくりに花を添えてもらえるよう、「おもてなし」の心で接客していただけることを期待しています。議会だより編集においても町民の皆様に見やすくわかりやすく伝わり、町民の皆様と議会の架け橋になるよう議会だよりを作製してまいります。

編集委員 小川 征

